

コミュニティ・スクール

児童学校満足度100%5年連続

特認校

子ども達が成人して社会で活躍する頃、日本は『厳しい挑戦の時代』を迎えていると予想されています。その時代を生き抜く力は、自分自身で粘り強く、主体的に学ぶ力と人々と協働して対話的に学ぶ力です。『人生百年時代』。片地小が目指すのは、『生涯学び続ける力』をつけることです。

コロナウイルス感染症拡大防止のために一斉休校になった令和2年3月・4月の2カ月間、片地小学校は大きな課題に直面しました。休校の間、子ども達に家庭学習として課していた漢字ドリルの習得状況を確かめるためにテストをしたのです。結果、子ども達の点数は大きく二極化していました。子ども達に自分自身で学ぶ力をつけてきたつもりでしたが、自分自身で学ぶ力がついていない子どももいたのです。



## 夏のあそびを豊かに 片地保育園

園庭のせんだんの木は、子ども達に夏には『木陰』を、秋には『ままごとの実』を、冬には『ぶちゴマ』をもたらしてくれます。

この夏は、網を片手にセミやトンボを追いかけ、ダンゴ虫やカエル、カニやエビの飼育もしています。自然豊かな片地保育園の夏。プールやシャボン玉など、夏のあそびを楽しむ中で、4・5歳児は、ボディペインティングに挑戦しました。最初は思いつきに好きな絵を描いていたのですが、そのうち段々あそびがダイナミックになり、手や足に、頭や顔に…と『あなたはだあれ?』の大変身!おもしろくて「もっとしたい!」「またやりたい!」とカラフルな子ども達は、今度はシャワーで元の可愛い姿に戻り、プールにバシャーン。次は魚に変身かな?何にでも変身できる“かたじっこ”のパワーがあります。今度は運動会でどんな姿を見せてくれるのか、楽しみです。



## 『探究』学習・レッツ!かたじまん 片地小



課題発見 高知工科大学生と龍河洞へ



情報収集 量販店でアンケート



整理・分析 アンケートを分析する



整理・分析 パソコンでわかりやすく



まとめ・表現 ミニ龍河洞づくり

片地小の総合的な学習の時間の名称は『レッツ!かたじまん』です。片地の自慢を見つけ、探究するという意味で、5年前の6年生が、その名称をつけました。片地小は小さな学校ですが、少人数で小回りが利くという強みを生かして、さまざまな場所に出かけ、体験活動を行います。その体験活動での気づきから、片地小の『探究』が始まります。総合的な学習の時間の探究学習は、①課題発見②情報収集③情報の整理・分析④まとめ・表現とい

う一連の活動を繰り返して行っていく予定です。子ども達も、この活動が大好きです。

**3・4年生は龍河洞の探究**

今回は、昨年度の3・4年生の『レッツ!かたじまん』を紹介します。3・4年生は『龍河洞』の探究学習に取り組みました。

最初に龍河洞を何回も訪ね、調べてみたいことを考えました。そして、地域の方々、山田高校生や県外出

身者の多い工科大学生に、龍河洞についてアンケート調査を行いました。調査を通じて、子ども達は、「もっと龍河洞に人が来てくれないか」と考えるようになりました。

そして、県外の修学旅行団にガイド、階段が苦手な方も楽しめるように、教室に『ミニ龍河洞』の設営、ポスターづくりなど、子ども達のアイデアに富んだ活動が展開されました。地域のことを考え、行動する喜びが子ども達を成長させてくれます。

## 片地小学校の『探究』学習



まとめ・表現 広島県尾道市立瀬戸田小学校の修学旅行団をガイド大勢の6年生を案内するのはドキドキの体験